

(講座) 薬用資源学

(研究室) 薬品構造解析学

(氏名) 真木俊英

(職名) 准教授

【研究テーマ】

1. 触媒反応科学に関する研究
2. 分子構造解析用デバイスの分子設計と合成

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. Toshihide Maki, Koji Ishida, Photocleavable Molecule for Laser Desorption Ionization Mass Spectrometry *The Journal of Organic Chemistry* **72**, 6427-6433 (2007). (IF: 3.79)

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 真木俊英、石田幸路：光開裂性分子標識を用いる反応解析：第33回反応と合成の進歩シンポジウム講演要旨集，p.198，2007年11月5-6日（長崎）。
2. 真木俊英：光開裂性分子タグの合成と性能：2007年日本化学会西日本大会講演要旨集，p.108、2007年11月10-11日（岡山）。

【特許】

1. 真木俊英，石田幸路：質量分析用イオン化標識剤およびそれを用いた質量分析法，特願2007-163180，平成19年6月20日。

【研究費取得状況】

1. グリコシダーゼ解析キットの開発； 科学技術振興機構・シーズ発掘試験
2. 糖鎖反応解析デバイスの合成と応用； 長崎大学・大学高度化推進経費研究プロジェクト

【学会役員等】

1. 日本化学会九州支部 代議員
2. 有機合成化学協会九州山口支部 幹事役員
3. 化学系研究設備有効活用ネットワーク協議会 委員

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	44 編	（邦文）	0 編
総説（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
著書（欧文）	7 編	（邦文）	0 編

紀要	(欧文)	0 編	(邦文)	0 編
特許		12 件		